

PFAS 汚染と私たちの暮らしへの影響

有機フッ素化合物

PFAS

ってなに？

沖縄県米軍基地からの泡消火剤の漏出による河川の有機フッ素化合物汚染(PFAS)問題に端を発し、東京都横田基地での泡消火剤の漏出、岡山県吉備中央町での使用済み活性炭仮置きによるPFAS漏出、明石川における産廃処分場からのPFAS漏出など、全国的にPFAS汚染問題が、深刻化しています。

PFASの一種であるPFOAは、昨年12月国際がん研究機関(IARC)に、発がん物質として指定され、PFOSは、発がん可能性のある物質と指定されました。過去には、ダイキンが大量にPFASを排出し、大阪湾を汚染し、現在は、明石川から流れ出るPFASが、瀬戸内海を汚染しています。PFAS問題が、水俣病の二の舞にならないよう私たちはPFAS問題を理解し、速やかに対策を取る必要があります。

そこで、尼崎市において、PFAS問題第一人者である小泉昭夫京都大学名誉教授のお話をお聞きすると共に、明石川のPFAS汚染状況を確認し、PFAS問題への理解を深めたいと思います。



講師

小泉昭夫 京都大学名誉教授

報告

明石川のPFAS汚染状況
丸尾牧 兵庫県議

7月13日 土
14時～16時

尼崎市立地域総合センター今北 2階集会室

参加費

500円

連絡先

ひまわり医療生活協同組合本部

06-4869-6694

(担当 小原)

※申込み不要

主催

尼崎市PFAS問題講演会実行委員会

よびかけ人

中村大蔵 三橋徹 金岩日佐美 丸尾牧(敬称略)

協力

尼崎医療生活協同組合、阪神医療生活協同組合、ひまわり医療生活協同組合、部落解放同盟尼崎市連絡協議会、よつ葉ホームデリバリー、阪神産地直送センター、特定非営利活動法人都市生活コミュニティセンター